平成29年度 決算・財政状況を報告します

本市の平成29年度の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている市政。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのか。

決算の概要と財政状況をお知らせします。

一般会計

平成29年度に一般会計に入ったお金（歳入）は509億2571万円。この中から使ったお金（歳出）は489億6495万円で、差し引き額は19億6076万円になりました。

歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は3135万円（0・3パーセント）増加。依存財源の代表的なものである地方交付税は6億5578万円（4・3パーセント）減少しました。歳入全体では、4億1875万円（0・8パーセント）減少しました。

歳出全体を性質別で前年度と比較すると、義務的経費は、多様な保育サービスの提供などに伴う扶助費の増加で9983万円（0・5パーセント）増加。投資的経費は、県立花巻厚生病院跡地取得費や、安全で快適な教育環境の確保を目的とした湯口・大迫中学校校舎改築事業などに伴う普通建設事業費の増加で12億5304万円（20・2パーセント）増加しました。その他経費は、市道の除雪経費（6億3946万円）や公共施設の維持補修費などで増加したものの、いわて国体花巻市実行委員会負担金や宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会負担金などの減少で、17億5217万円（8・3パーセント）減少しました。歳出全体では、3億9930万円（0・8パーセント）減少しました。

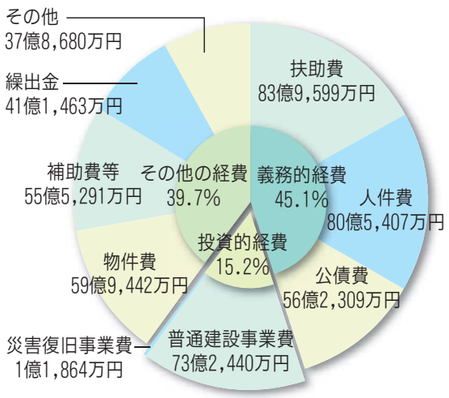
今後とも、事業の優先度・緊急度を見極め、限られた財源を効果的に活用しながら、戦略的・重点的な施策展開を図ります。

■平成29年度の主な事業

分野	事業名	金額（単位：万円）	事業内容
しごと	スマートアグリ推進事業	683（309）	情報通信技術を活用した効率的な農業経営の推進を図るため、GPS地上基地局設置などの環境整備を行いました。
	宿場町おおはさま400年記念事業	2,958	大迫地域の現在の街並みが形成されてから400年の節目の年を記念し、日本ワインフェスティバルなどのイベントを行いました。
	花巻・遠野広域連携事業	1,126	遠野市との連携による効果的な情報発信や観光ルートの景観保全を行いました。
暮らし	総合花巻病院移転整備支援事業	6,425（4,925）	市民が安心して必要な医療を受けられるよう、地域医療の中核を担う総合花巻病院の移転整備事業に対する支援を行いました。
	公営住宅等建設事業	3億7,360	東日本大震災の沿岸被災者の住宅を確保するため、花巻地域中心市街地に被災者公営住宅の建設を進めています。
	消防拠点施設等整備事業	6,539	常備消防の災害対応力の充実強化を図るため、経年劣化した消防車両を更新しました。
人づくり	湯口中学校・大迫中学校校舎改築事業	13億1,804（6億4,789）	安全で快適な教育環境を確保するため、老朽化した湯口・大迫中学校の各校舎を改築しました。
	こども発達相談センター改築事業	9,639	乳幼児の発達の遅れなどを早期に発見し、発達を促すため、老朽化した施設の改築を行いました。
	田瀬湖ボート場環境整備事業	7,667	スポーツ合宿などの誘致による交流人口の拡大を図るため、施設の一部を改修しました。
地域づくり	地域おこし促進事業	3,486	都市部の人材を「地域おこし協力隊」として採用し、各地域で地域活性化のための支援活動に取り組んでもらいました。

※金額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業費の決算額です

歳出 489億6,495万円



用語解説（歳出関係）

▶**義務的経費**／人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶**投資的経費**／道路や学校など、将来に残るものに対する経費▶**扶助費**／社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶**公債費**／過去に借りたお金を返すための経費▶**物件費**／施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶**繰出金**／一般会計から特別会計へ支出する経費▶**補助費等**／事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費

【歳出決算額内訳】（＊性質別歳出）

項目			29年度（単位：万円）	構成比	増減率
義務的経費	扶助費		83億9,599	17.1%	1.9%
	人件費		80億5,407	16.4%	0.8%
	公債費		56億2,309	11.5%	△2.2%
		元金	52億6,304	10.7%	△1.2%
		利子	3億6,005	0.7%	△14.8%
	小計		220億7,315	45.1%	0.5%
投資的経費	普通建設事業費		73億2,440	15.0%	18.3%
	災害復旧事業費		1億1,864	0.2%	皆増
	小計		74億4,304	15.2%	20.2%
その他の経費	物件費		59億9,442	12.2%	2.5%
	補助費等		55億5,291	11.3%	△18.2%
	繰出金		41億1,463	8.4%	0.1%
	その他	積立金	15億2,794	3.1%	△13.4%
		維持補修費	13億7,553	2.8%	31.6%
		投資及び出資貸付金	8億8,333	1.8%	△46.3%
	小計		194億4,876	39.7%	△8.3%
合計			489億6,495	100.0%	△0.8%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません

＊性質別歳出

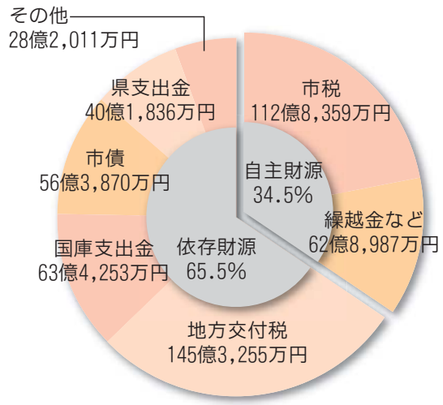
歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

歳入 509億2,571万円

【歳入決算額内訳】

項目			29年度（単位：万円）	構成比	増減率
自主財源	市税		112億8,359	22.2%	0.3%
	繰越金など	繰越金	19億8,021	3.9%	5.4%
		繰入金	14億9,290	2.9%	10.4%
		諸収入	10億1,047	2.0%	△16.3%
		使用料及び手数料	6億7,468	1.3%	△1.7%
		分担金及び負担金	5億1,316	1.0%	△12.3%
		財産収入	4億5,639	0.9%	297.1%
		寄附金	1億6,206	0.3%	△9.4%
	小計		175億7,346	34.5%	1.8%
依存財源	地方交付税		145億3,255	28.5%	△4.3%
	国庫支出金		63億4,253	12.5%	8.1%
	市債		56億3,870	11.1%	△6.9%
	県支出金		40億1,836	7.9%	△7.1%
	その他	地方消費税交付金	17億477	3.3%	6.1%
		地方譲与税	8億4,057	1.7%	△0.2%
		自動車取得税交付金	1億4,271	0.3%	41.8%
		地方特例交付金	4,453	0.1%	15.6%
		株式等譲渡所得割交付金	2,421	0.0%	161.8%
		配当割交付金	2,097	0.0%	26.8%
		利子割交付金	1,490	0.0%	124.2%
		交通安全対策特別交付金	1,477	0.0%	△2.0%
		ゴルフ場利用税交付金	1,268	0.0%	△2.0%
	小計		333億5,225	65.5%	△2.2%
合計			509億2,571	100.0%	△0.8%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません



用語解説（歳入関係）

▶**自主財源・依存財源**／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」▶**地方交付税**／市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶**国庫支出金・県支出金**／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶**市債**／事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

特別会計

五つの特別会計の決算

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。

【特別会計決算の総括表】（単位：万円）

会計名	歳　入	歳　出	差引残額
国民健康保険	109億　749	104億2, 327	4億8, 422
後期高齢者医療	19億8, 661	19億8, 579	82
介護保険	101億6, 484	99億1, 662	2億4, 822
公設地方卸売市場事業	6, 525	6, 382	143
農業集落排水等汚水処理事業	15億3, 526	13億8, 763	1億4, 763
合　計	246億5, 945	237億7, 713	8億8, 232

この特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

■国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保健事業を実施。平成29年度の被保険者は2万707人で、前年度と比較して1143人（5・2パーセント）減少しました。

市が支払う保険給付費は62億2200万円で、前年度と比較して1億9447万円（3・0パーセント）減少しました。

平成29年度の被保険者は1万7419人で、前年度と比較して203人（1・2パーセント）増加しました。

市が支払う医療給付費相当額は9億6712万円で、前年度と比較して85万円（0・1パーセント）増加しました。

■後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました（事務は、運営主体である岩手県後期高齢者医療広域連合と分担しています）。

■介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金などを主な財源として、介護給付や総合事業における介護予防・生活支援などに取り組みました。

平成29年度末の65歳以上の高齢者は3万2011人、本市の人口に占める割合は33・2パーセントとなり、前年度と比較して0・5ポイント上昇しています。

また、要介護などの認定者6467人のうち、5175人（80・0パーセント）が介護サービスを利用しました。

市が支払う保険給付費は93億2314万円で、前年度と比較して70万円減少しました。

■公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

生鮮食料品の安定供給に努め、青果物6617トン、水産物1644トンの取扱高がありました。

■農業集落排水等汚水処理事業

農業集落排水施設使用料を主な財源として維持管理を行い、また、国・県の補助金を主な財源として汚水処理施設の設備更新を行いました。

農業集落排水施設は、平成4年度から平成22年度まで整備を実施。花巻地域7地区、大迫地域1地区、石鳥谷地域5地区、東和地域1地区の全ての地区で整備が完了し、供用しています。

供用区域内で水洗化の促進に努めた結果、水洗化率は、85・4パーセントとなりました。

公共下水道や農業集落排水の集合処理区域を除く地域では、戸別浄化槽を56基設置するなど、それぞれの区域に即した汚水処理方法で水洗化を促進しました。

公営企業会計

■下水道事業

下水道使用料を主な財源として維持管理を行い、また、国補助金などを主な財源として下水道施設の整備を行いました。

平成29年度は、胡四王地区や西宮野目地区など5地区で排水管の布設工事を行い、下水道整備区域を拡大。その結果、計画面積に対しての整備率は88・5パーセントとなりました。また、下水道整備を終えた区域内で水洗化の促進に努めた結果、水洗化率は84・1パーセントとなりました。

【下水道事業会計決算の状況】

項　目		29年度（単位：万円）
収益的収支（税抜き）	収入	23億5, 827
	支出	22億8, 977
	純利益	6, 850
資本的収支（税込み）	収入	15億8, 624
	支出	21億6, 631
	不足分（※）	5億8, 007

※当年度分の留保資金などから補てん

財政状況

全項目で健全化基準をクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率（4分類）と資金不足比率があります。

国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体（要注意状態）」「財政再生団体（破たん状態）」のいずれの状態にあるか、また各会計の経営状態はどうなのかを判断することができます。

この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。

本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

引き続き財政健全化を推進

本市全体の地方債（借金）の平成29年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ2億円減少しています。

一方、主な基金（貯金）の平成29年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ1億円増加しています。

【財政健全化判断比率】

区　分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	― パーセント	11. 89 パーセント	20 パーセント
連結実質赤字比率	― パーセント	16. 89 パーセント	30 パーセント
実質公債費比率	9. 8 パーセント	25 パーセント	35 パーセント
将来負担比率	95. 8 パーセント	350 パーセント	

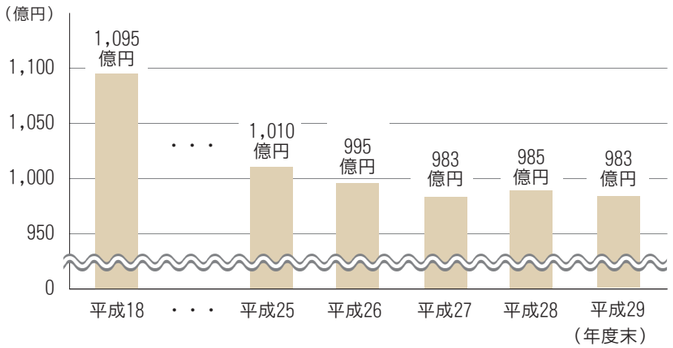
【資金不足比率】

会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	― パーセント	20 パーセント
農業集落排水等汚水処理事業	― パーセント	20 パーセント

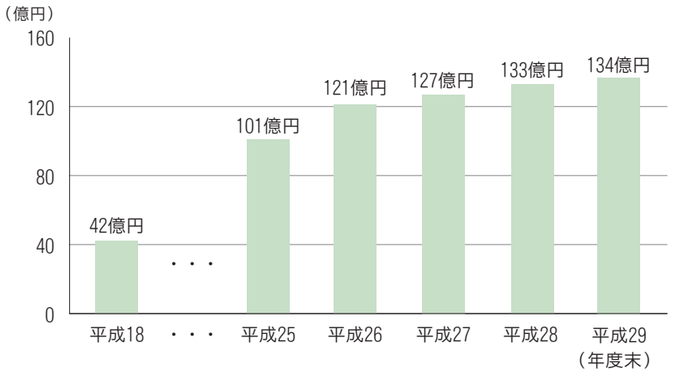
注１…表中、各基準は国が示した数値です
注２…赤字額、資金不足がない場合は、「― パーセント」で表しています

用語解説
▶**実質赤字比率**／普通会計（一般会計など）の赤字比率▶**連結実質赤字比率**／市の全ての会計（普通会計・特別会計・公営企業会計）を含めた赤字比率▶**実質公債費比率**／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶**将来負担比率**／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第３セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率▶**資金不足比率**／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

■地方債（借金）現在高の推移
※一般会計と特別会計・公営企業会計の合計額



■主な基金（貯金）現在高の推移
※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



決算などについて、詳しくは
▶決算や財政状況については、本館財政課へ問い合わせください▶平成29年度決算書、実施した事業の概要や成果をまとめた資料は、本館財政課や各総合支所地域振興課、各市立図書館、各振興センターに備え付けているほか、市ホームページに掲載しています▶市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります